



発行責任者 亀岡市立病院広報委員会

〒621-8585

京都府亀岡市篠町篠野田1-1

TEL 0771-25-7313

FAX 0771-25-7312

<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/hospital/>

病院理念

- 急性期医療を中心とした適切かつ良質な医療を提供します。
- 患者さまの権利を尊重し、理解と納得に基づいた患者さま中心の医療を行います。
- 地域医療機関と連携し、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み地域医療の向上に貢献します。
- 公共性と経済性を考慮し、市民の理解と信頼を得られる透明性のある病院運営を行います。

CONTENTS

ごあいさつ	1
開院20周年記念を迎えました 亀岡ライオンズクラブによる公用車寄贈	2.3
小児科もガンバっています！ 医療安全地域連携相互ラウンドを行いました 職場体験を終えて	4.5
市民健康講座	6
地域連携医のご紹介 編集後記	7
外来担当医表	8

ごあいさつ

当院は今年21年目を迎えますが、現在の医療情勢は開院時よりもさらに厳しさを増しております。

しばらく続く高齢者多死社会に伴う医療ニーズ増加、働き方改革と現役世代急減に伴う医師、看護師などの医療人材の絶対的不足とインフレに伴う人件費高騰、円安や世界情勢不安定化に伴う医療機器、薬品の価格高騰、病院を標的とするサイバーテロ対策や医療DXに伴う改修費用高騰など経営困難の理由を挙げる枚挙に暇がありません。

医療は保険で報酬が決まっておりますので、医療器具などのコストが上がったからといって、勝手に手術代金を上げるわけにはいきません。すでに民間、自治体立を問わずほとんどの病院が赤字決算となっており、今後は病院大倒産時代を迎えることでしょう。

2040年代以降には高齢者も減少に転じ、人口急減に伴い、医療ニーズも縮小して病院も少なくて済むと言われており、国としてはある程度病院が倒産して無くなることは、織り込み済みなのかもしれません。

しかしながら、このままでは今後15年ぐらいの間は具合が悪くなった時に医療にかかれないことが、常態化する危険性があります。その中で当院が生き残るためには、選択と集中が欠かせません。近隣の基幹病院とこれまで以上に連携を強化し、特徴ある急性期医療の一部は残しつつ、回復期の機能を充実させていきたいと考えております。

そのことにより、寿命が来るその時まで安心して住み続けられるまち、亀岡市の実現に寄与し続けることを目標にして職員一同邁進してまいります。

今後とも皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

亀岡市病院事業管理者
兼亀岡市立病院病院長事務取扱
兼地域医療情報センター長

田中宏樹





開院20周年記念を迎えました



平成16年(2004年)6月1日に開院してから20年の歳月を積み重ね、昨年の10月20日(日)「ギャラリーかめおか」で「亀岡市立病院開院20周年記念式典」を開催しました。

式典当日は秋晴れに恵まれ、京都府立医科大学学長や京都府立医科大学附属病院病院長、亀岡市医師会会長や医師会、介護施設、公的機関等の関係者の方など多くの方にご臨席いただき、お祝いの言葉やメッセージも賜り、大変有意義な時間を過ごさせていただきました。

式典では、職員による記念講演や職員が作成した病院紹介ビデオの放映、ご列席いただいた方へ感謝の意を込めて職員による演奏も披露させていただきました。

開院20周年の記念行事を開催するにあたり、記念誌も作成し関係者の方にお配りさせていただきました。

この記念誌で開院当時からの「あゆみ」を綴るため、今日までの出来事を振り返りながら、課題解決に苦勞したことや研究成果の内外発表など、懐かしい記憶を辿りながらの作業となりました。

職員の中には中途採用職員もいますので、改めて病院の「あゆみ」を知ることは思いだけでなく、これから先の公立病院としてのあり方や方向性などを考える良い機会になったのではないかと考えております。

これまで亀岡市立病院の運営にあたり、市民の皆様や関係各位の皆様にご支援・ご鞭撻をいただいたことを感謝申し上げます。

少子高齢化や医療従事者の不足など医療を取り巻く環境は厳しいものがありますが、今後においても医療情勢に柔軟に対応しながら地域医療の一端が担えるよう職員一同努力してまいりますので、どうぞよろしくようお願い申し上げます。



🎀 亀岡ライオンズクラブによる公用車寄贈

昨年10月21日、亀岡市立病院開院20周年にあたり、亀岡ライオンズクラブ様より訪問看護車両(公用車)1台を寄贈していただきました。

訪問看護のご依頼は増えており、現在、4台となった訪問看護用公用車は毎日フル稼働しております。医療ケアを必要としながら、在宅で療養する方はこれからも増えていきます。

私たち亀岡市立病院訪問看護ステーションでは、これからも利用者様、ご家族様がその人らしく住み慣れた場所で安心して過ごせるよう、そして、専門性の高い看護をまごころをもってお届けできるように精進してまいります。



この度、いただきました公用車は、私たちの相棒として長く大切に活用させていただきたいと思えます。

亀岡ライオンズクラブ様の温かいご支援に深く感謝申し上げます。

下記は、10周年記念時に考案した「シンボルマーク」と、
20周年記念で作成したマスコットキャラクターです。



**Kameoka
Municipal Hospital**

亀岡市立病院シンボルマーク

保津川の水色と緑豊かな街、亀岡市。 それを支える救急の赤。
このロゴマークは人の型を表し、市立病院を支える市民やその期待に応える医療従事者を示しています。
また、このロゴは亀岡の頭文字「K」をデザインしています。ローマ字であらわした亀岡市立病院は、桔梗色を用いています。



「亀岡市観光マスコットキャラクター
明智かめまる(ドクターバージョン)」



小児科もガンバっています!



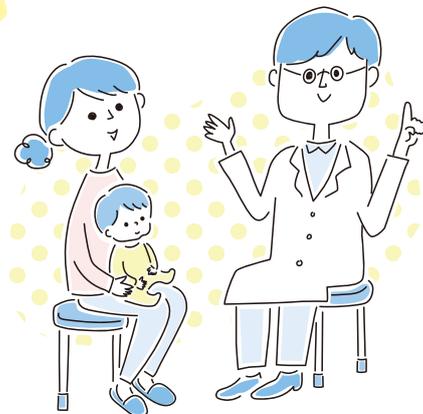
①小児代謝・内分泌外来 (第1・第3月曜日午前、休日の場合は他の週で)開設

2024年4月より、完全予約制ですが、月に2回、京都府立医科大学小児科から専門の医師に来てもらって代謝・内分泌外来を開いています。外来の名前だけではわかりにくいかもしれませんが、対象となる疾患は低身長(背が低い)、肥満(太ってる)、糖尿病、夜尿症(おねしょ)、思春期早発症(通常より早い二次性徴の出現)、甲状腺の病気など、たくさんあります。

いろいろなアドバイスや検査、治療ができます。

生まれたての赤ちゃんのスクリーニング検査で異常を指摘された時の精密検査にもある程度対応できます。

健診で何かを指摘されたり、上に書いたようなことで何か気になることがあれば、まずは小児科外来に電話して相談してみてください。



②一般小児科の夕方診療開始



当院の一般小児科外来は、熱があっても予約なしで受診でき、初診でも余分な受診料が発生しないことで気軽に受診できる小児科を目指していますが、午後は特別な予約外来をしている関係で、開院依頼ずっと午前だけの診察時間であり、それが気軽に受診できない理由の一つとなっていました。

そこで、少しでも皆さんに気軽に受診してもらえるようにするため、2024年12月から、夕方に診察を始めました。

とは言え、一気に大きく体制を変えるのは難しく、まずは週に1回、木曜日だけで開始です。

受付時間は17時から19時15分までで、当面は救急室を使って受付や診察をしていますが、救急対応ではなく、普通の外来診療なので、受付時間内であれば電話連絡や予約の必要はありません。

検査や薬の処方もできるだけ午前中の診察に近いことができるように考えています。

将来的には午前中と同じように小児科外来で診察できるように体制を整えたいと考えています。理想的には曜日を増やしたいところですが、そこまでとり着くにはしばらく時間がかかりそうです。

医療安全地域連携 相互ラウンドを行いました



病院を利用する患者さんに医療を提供する上で安全であることは大前提です。

そして一定の基準のもと、適切かつ良質であるために指針やガイドラインに照らして評価することも必要です。病院には専門の研修を修了した医療安全管理者を配置しています。

当院では臨床経験豊富な看護師長が務めています。

医療安全管理者は小さなエラーから波及するインシデント・アクシデントを未然に防ぎ、命に関わるような医療事故を起こさないよう日々奮闘しています。

また起きてしまったアクシデントについて、要因を分析し再発防止策を提言します。

年間の大事な活動の1つに他機関の医療安全管理チームの訪問により、院内の医療安全機構が有効に機能しているか専門的な視点でチェックを受ける相互ラウンドがあります。

今年度は12月9日に市立福知山市民病院から医師、看護師、事務員の3名の方に、外来中央処置室や放射線検査で起こり得る患者間違いリスクや、病棟での安全な療養環境などのアドバイスをいただきました。

当院の取り組みの中で多職種がベッドサイドで患者さんの意見を取り入れながら、環境調整を進めていることに高評価をいただきました。

私達は、これからも患者さんの尊厳と安全を守る市民の病院として、努力して参ります。



職場体験を終えて



11月5日～7日の3日間、京都府立園部高等学校附属中学校の2年生1名が、病院薬剤師の職場体験に来られました。職場体験中は真剣なまなざしで様々な業務に興味を持ち、病院薬剤師の業務内容を理解されていました。また、病院内のさまざまな職種がチームを組んで、患者さんの治療に取り組んでいるところも見学いただきました。

『思っていた以上に、学びがあった。なかなかできないことを経験できて良かった。心地よい環境で学べた。』との感想をいただきました。

今後も、将来医療現場での活躍を希望されている中高生の皆様の有意義な職場体験ができる場所となるよう、職員全員で取り組んでまいります。





～正しく生かそう、健康についての知識～

9月28日に亀岡市立病院市民健康講座を亀岡市役所シティホールで開催し、50名の市民の皆さんに参加いただきました。

今回は、外科吉井医師より『外科の今、昔』、糖尿病内科北川医師より『健康の基本は、適切な運動や食事習慣です』、薬剤科吉見主任薬剤師より『正しい薬の使い方』の3演題でお話ししました。

ここで演題の中でお話ししました最近の話題を、取り上げたいと思います。

2024年(令和6年)10月より、後発医薬品(ジェネリック医薬品)があるお薬で、先発医薬品を希望した場合、医療費の他に、別途料金を支払う制度がスタートしました。

これは、安価な後発医薬品の使用推奨と、先発医

薬品希望される場合には、先発医薬品と後発医薬品の価格差の一部を自己負担いただくことで医療費を削減し、将来にわたり国民皆保険を維持していくことが目的です。

ただ、全ての先発医薬品ではありません。また先発医薬品が医療上の必要がある場合は制度対象外となることもあります。詳細は厚生労働省のホームページまたは医療機関・薬局でご確認下さい。

亀岡市立病院市民健康講座は、今後も身近な話を含め、有益な情報を提供していきたいと考えております。

開催についてはホームページや広報誌でご案内致しますので、是非ご参加下さい。



おうちで過ごすための訪問看護・ 訪問診療～予防から看取りまで～



第29回健康講座「おうちで過ごすための訪問看護・訪問診療～予防から看取りまで～」というテーマで訪問看護師がお話しました。

講演会では、訪問看護がどのようなサービスなのか、自宅で何ができるのか、実際に訪問看護を利用している方の声をお届けすることができました。

当日は70名近い市民の皆様の参加があり、熱心に聴講してくださいました。

当院の訪問看護ステーション、訪問診療は2年目を迎え、在宅看取り件数も増加し、医療ケア度の高い利用者さまも増えてきています。病院併設という強みを活かして、院内外とのスムーズな連携により、今後、ますます市民の皆様のニーズにお応えできるよう、訪問看護・訪問診療を発展させていきたいと思っています。



Knee(膝)の痛みはどこから?

第30回健康講座では「膝の痛みはどこから?」をテーマに、膝への負担を減らす方法として

- ①関節を柔らかく保つ
- ②膝の周りの筋肉をつける
- ③姿勢を正す

という3点を話させていただきました。質疑応答の時間では参加者の方々のご質問、ご意見が途切れることなくあり、膝関節の疼痛について関心が高いことを実感いたしました。

次回も、準備をしっかり行い皆様にわかりやすい内容を心掛けます。

引き続き、健康講座へのご参加よろしくお願いたします。



当院では、地域の医療機関と連携して、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み、地域医療の向上に貢献することを病院の基本理念として、患者様中心の医療を展開しています。

そこで、本院と関係の深い、地域の連携医療機関を順次紹介させていただきます。

ふくい内科クリニック

院長：福居 顕 介（ふくいけんすけ）

住 所：〒621-0828
亀岡市篠町馬堀駅前1丁目6番1号

T E L : 0771-29-1291

F A X : 0771-29-1292

標榜科目：一般内科・循環器内科

診療時間：午 前/ 9:00-12:00(月～土)
午 後/17:00-19:30(月・水・金)
休 診/火曜午後診、木曜午後診、
土曜午後診、日曜、祝日

※最終受付は診療時間の15分前までです。



医院より一言

2021年11月、亀岡市立病院の内科・循環器内科に勤務していたご縁もあり、馬堀駅の近くに「ふくい内科クリニック」を開院いたしました。「一人一人の患者さんに寄り添った診療を心がけ、良質な医療を提供し、信頼される医院をめざす」を基本理念にし、診療にあたっています。

特に、心血管病のリスク因子とされる生活習慣病の管理には、力をいれております。動悸や胸部不快の原因にあげられる不整脈の精密検査として、ホルター心電図(1日心電図)・イベント心電図(有症状時に心電図波形を記録する機器)も導入しています。

当院では診断が困難なときや、全身状態の評価の必要なときなど、急な紹介の際にも、亀岡市立病院の先生方には快く対応していただき感謝しております。

亀岡市の地域医療を支えていくために、今後も病診連携を進め、微力ではありますが貢献できればと思っております。

これからもよろしくお願い致します。

編集後記

残寒の中にも、かすかな春の息吹が感じられるようになりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

年明けから今日まで、気温の寒暖差が激しく、体調を崩しやすい時期となっておりますので、体調管理に十分にお気を付けてください。

さて、当院は2004年6月に開院し、昨年6月で20年が経ちました。これもひとえに日々病院事業にご尽力くださっている関係者各位、ならびにご愛読いただいている皆様のおかげです。

これからも当院では、広報誌をはじめ、ホームページや市立病院公式Facebookなどで、日々の診療や健康講座など、皆様に身近に感じていただけるような情報を発信して参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

広報委員会事務局 病院総務課 平井 美咲

市立病院公式Facebookはこちらから！
(ぜひページ・記事への「いいね！」をよろしくお願いします！)



外来担当医表

(令和7年4月現在)

診療科	月	火	水	木	金
一般内科	けい ら なつ や 計良夏哉 (第1・3・5週) き むら たい こう 木村兌弘 (第2・4週)	き むら ふみ こ 木村史子	松木 あゆみ	まつ もと よう すけ 松本洋典	木村史子
	なか じま なお こ 中島尚子	し むら ゆう じ 志村勇司 (血液)		まつ お りょう へい 松尾龍平	
循環器内科 (予約)	すぎ もと ひかる 杉本光	まつ き 松木 あゆみ (午前)	い どう のぶ やす 伊藤之康 (午前)	—	松木 あゆみ (午前)
消化器内科 (予約)	うえ はら ゆき こ 上原有紀子	しろ の たか お 夫 城野孝夫	上 原 有紀子 (午前)	中 島 尚 子 (午後)	こ やま ゆ き 小山友季
内科 (予約診)	—	—	—	木村史子 (午前)	—
糖尿病内科 (予約)	—	担当医	きた がわ のり ゆき 北川功幸	北川功幸	はま ぐち まさ ひで 濱口真英
呼吸器内科 (予約)	—	—	—	すぎ やま まき こ 杉山牧子	—
神経内科 (予約)	す おう ひろ き 周防大貴 (第2・4週)	—	—	—	よし だ まい か 吉田舞花
ペースメーカー 外来(予約)	—	—	—	—	松木 あゆみ (偶数月の第3週)
皮膚科	—	—	やま もと り の 山本梨乃	—	こ ばし はる か 小橋陽加 (9時30分診察開始)
泌尿器科	—	むら した じゆん き 村下純輝 (第1・3・5週)	—	高橋 輝 (第1・3・5週) 村下純輝 (第2・4週)	—
		たか はし ひかる 高橋輝 (第2・4週)			
外科1診	い むら けんいちろう 井村健一郎	た なか ひろ き 田中宏樹	田中宏樹	まつ だ はや と 松田隼人	井村健一郎
外科2診	にし もと ゆ か 西本裕加 (乳腺)	ひろ たに なぎ さ 廣谷凧紗 (乳腺)	—	—	—
外科 午後(予約)	西本裕加 (乳腺)	—	田中宏樹 (乳腺)	—	—
	井村健一郎 (肛門外来)				
麻酔科 (ハ ^レ インクリニック)	はし もと とも こ 橋本朋子	—	—	—	橋本朋子
眼科	あお き たか のり 青木崇倫	担当医	—	かゆ かわ かな え 粥川佳菜絵	—
整形外科 1診	く ぼ やす おみ 久保恭臣	なり た わたる 成田渉	久保恭臣	いま い かん 今井寛	さい どう とも き 齋藤智起
整形外科 2診	かま だ よういちろう 鎌田陽一郎	こ ばやし ゆみ こ 小林裕美子	鎌田陽一郎	—	—
整形外科 3診	たま い かず お 玉井和夫	—	玉井和夫	—	—
小児科	てら まち しん じ 寺町紳二	寺町紳二	寺町紳二	寺町紳二	寺町紳二
小児科 代謝・内分泌	すぎ もと さとる 杉本哲 (第1・第3週)	—	—	—	—
小児科 午後(予約)	寺町紳二 (循環器)	寺町紳二 (予防接種)	寺町紳二 (予約外来)	寺町紳二 (循環器・アレルギー)	寺町紳二 (予約外来)
小児科 夜診	—	—	—	寺町紳二 (17時15分診察開始)	—

※都合により変更になることがありますので、最新情報はホームページでご確認をお願いします。

亀岡市立病院

〒621-8585 京都府亀岡市篠町篠野田1-1
TEL 0771-25-7313 FAX 0771-25-7312
<https://www.city.kameoka.kyoto.jp/site/hospital/>



亀岡市立病院は、在宅で療養されている高齢者等を支援する京都府の在宅療養あんしん病院に登録しています。

UD FONT

亀岡市立病院広報誌「桔梗」はユニバーサルデザインフォントを使用しています。

JR馬堀駅から徒歩約5分/
京都縦貫道篠インターから車で約5分/駐車(輪)場有